

Huyen さんのパワーポイント(日本語訳)

(1 ページ目/表紙)

「ベトナムの自然災害対策における障害者の参加」

ドウ・シー・ヒューイエン

ハノイ障害者協会会長

(2 ページ目)

「常識に挑戦し、私たちの世界を変える」

職歴:

- アカデミー・オブ・ファイナンスのオフィサー (2000-2013)
- ベトナム・アビリス財団のプログラム・ディレクター (2014年-現在)
- ハノイ障害者協会副会長 (2017-2022)
- ハノイ障害者協会会長 (2023年~現在)

学歴:

- 経済学学士 (ベトナム)
- 経済学修士 (ベトナム)
- 国際開発・社会変革修士 (米国)
- オーストラリアでの短期コース (ジェンダー、職業訓練)

(3 ページ目)

ベトナムの国情

- 人口: 96,208,984 人 (女性 50.2%、男性 49.8%) (GSO, 2019)

都市人口は総人口の 34.4% を占める

- 障害者 (PWD) : 2016 年調査 (VDS)

2 歳以上の人口の 7.06% が障害者

合計: 6,225,519 人の障害者

- 障害の発生率は増加する傾向にあり、女性の障害率は男性よりも高い
農村部の有病率は都市部のほぼ 1.5 倍。

(4 ページ目)

背景

- ベトナムは気候変動の深刻な影響を受けています。
- ベトナムは自然災害に関していくつかの課題に直面しています。
- + **台風:** 台風として知られている熱帯低気圧によるもので、年間平均で約 5 回の暴風雨が

発生します。台風の季節は、国内でそれぞれ異なっています。2020年には、わずか数週間で数回の暴風雨が発生し、損壊や死亡の原因となり、そしてベトナムがこの数十年の間で最悪の洪水を引き起こしました。

+ **洪水**: 熱帯性暴風雨によって引き起こされることが多い豪雨は、時には長期間続くことがあり、壊滅的な洪水や地滑りを引き起こします。大雨は多くの町や村を襲い、人々や家畜を一掃して死に至らしめる可能性があります。

+ **雹を伴う嵐**: ベトナム北部でよく発生します。雹が発生すると、トウモロコシ畑やいくつかの果樹にダメージを与えることが知られており、特に家屋や作物に甚大な被害を与える可能性があります。

+ **竜巻**: ベトナムでは強風を伴う嵐が発生する可能性があります、大雨の中で猛烈な竜巻が発生します。

+ **地震**は、ベトナムではそれほど頻繁には発生しませんが、まれに発生します。

- 障害者は、給水への公平なアクセスに対する物理的な障壁、またインフラとしての障壁、および文化的な障壁に直面しています。

(5 ページ目)

(ハノイ障害者協会メンバーの写真 英語版参照)

(6 ページ目)

ハノイ障害者協会 (DP ハノイ) についての概要

2006 年設立

- 48 の団体からなる統括組織、あらゆるタイプの障害を持つ 16,000 人を超える個人会員 (PWD)

- 活動分野: 諸能力の向上、人々の障害理解の向上、職業訓練と雇用、インクルーシブ教育、健康とりハビリテーション、障害者の権利擁護

<http://dphanoi.org.vn>

(7 ページ目)

<https://tuoitre.vn/ha-noi-mua-lon-moi-sang-som-nhieu-tuyen-pho-thanh-song-20220812064514956.htm>

(図)英語版参照

(8 ページ目)

災害対策(DRR)における障害者に関わる政策

- 障害者法

-ベトナムでは国連障害者権利条約(UNCRPD)を批准

-ベトナム政府では SDGs(持続可能な開発目標のための 2030)アジェンダを実施するための国家行動計画

-ベトナム政府による 2050 年までのビジョンと 2030 年までの自然災害防止と制御のための国家戦略

課題:

- ・ 74% の障害者は、コミュニティの災害リスク管理計画を知らない
- ・ 障害者の 69% は、災害リスク管理の計画と意思決定に参加していない
- ・ 障害者の 76% が、避難困難に直面している

(9 ページ目)

災害対策(DRR)で障害者が直面するリスクと障壁

・ 被災前: 情報がアクセシブルな形式で提供されていない。たとえば、早期警報システムからの音声警報は、耳が聞こえない人には役に立たない。身体障害のある人は、危害から逃れることができず、洪水によって押し流されたり、建物の中に閉じ込められたりする可能性がある。

・ 被災中: 緊急避難所や一時利用場所は、アクセスできないか、または見つけるのが難しい場合がある。これには、アクセスできない WASH (水、衛生) および医療施設が含まれる。

・ 被災後: 避難行動は、気候変動の影響を受けやすい 2 つの地域間で発生することが多いため、移動後も気候関連の脆弱性は止まらない。すなわち、環境と気候のリスクは、特に障害のある人にとって、受け入れ地域でさらなるニーズを引き起こす可能性がある。

(10 ページ目)

災害対策(DRR)への対応における障害者の参加促進

-地域に根ざした災害リスク管理に、なぜ障害者が参画すべきか。

-地域に根ざした災害リスク管理は、どのように障害者を統合すべきか。

-ステークホルダーの、とりわけ地域に根ざした災害リスク管理におけるさまざまなレベルの障害者代表の役割とは。

(11 ページ目)

地域に根差した災害リスク管理サイクル

- ① 地域の特定制と災害リスクの評価
- ② リスク軽減計画の策定
- ③ 計画の実行
- ④ モニターと評価

上記①から④が循環する図式(英語版参照)

(12 ページ目)

4 枚の図(英語版参照)

(13 ページ目)

連絡先

huyendt@dphanoi.vn

<http://dphanoi.org.vn>

(14 ページ目)

視聴者へのお礼の言葉